

学修概要

将来、歯科衛生士として国民の健康に関わるにあたり、必要な歯科保健・医療における倫理について主として学ぶ。

- 教科書：1 最新歯科衛生士教本 歯科医療倫理 第2版（医歯薬出版）
- 参考書：1 スタンダード社会歯科学 第7版(学建書院)
- 授業時間：月曜日 11：00～11：50
- オフィスアワー：尾崎 哲則 月曜日 17：00～18：00 (ozaki.tetsunori@nihon-u.ac.jp)
- 授業の方法：教科書・プリントによって講義を中心行なうが、個人テーマ別演習を入れ込みながら進めていく。
- 準備学習・ 前回に出された課題は、できる限り終了して、授業に臨むこ
準備学習時間：と。
- 成績評価：定期試験（50%）、レポート1回（30%）、まとめプリント等
5回（20%）を総合的に評価する。
- 注意事項：医療と倫理に関する新聞記事・テレビ番組などに、関心を持っておくこと。
- 実務経験：尾崎哲則：社会系医学・歯学の複数学会・研究所で、研究倫理委員会の開設・運営に関わった経験から、市民側の意見も踏まえ、実際の事例を入れ込みながら授業をしていきます。

授業日・担当者	講義項目	学修目的・到達目標
第1回 10月7日 尾崎 哲則	1. 医療に関わる人としての義務と裁量権 1) 歯科衛生士としての条件 (教1) pp. 84	・わが国の歯科衛生士には、法的にあるいは倫理的にどのようなことが必要とされているか、その条件について挙げることができる。
第2回 10月21日 尾崎 哲則	1. 医療に関わる人としての義務と裁量権 2) 患者との信頼 (教1) pp. 5-7	・医療における医療者と患者との信頼とは何かを概説できる。
第3回 10月28日 尾崎 哲則	1. 医療に関わる人としての義務と裁量権 3) 医療者の裁量権 (教1) pp. 40	・医療の中で処置方針のいくつかについては医師・歯科医師の裁量権で決められるが、この裁量権のもつ意義について説明できる。

授業日・担当者	講義項目	学修目的・到達目標
第4回 11月11日 尾崎 哲則	2. インフォームド・コンセント 1) 歴史的背景 (教1) pp. 32-33	<ul style="list-style-type: none"> ・ インフォームド・コンセントについて説明できる。 ・ パターナリズムとインフォームド・コンセントの違いについて説明できる。
第5回 11月18日 尾崎 哲則	2. インフォームド・コンセント 2) 内容と必要性 (教1) pp. 34-40	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医師の裁量権よりも患者の自己決定権が優先されることが説明できる。 ・ 医療における契約という概念を述べることができる。
第6回 11月25日 尾崎 哲則	2. インフォームド・コンセント 3) 患者の立場から (教1) pp. 40-41	<ul style="list-style-type: none"> ・ 患者の同意に伴う自由について概説できる。 ・ セカンド・オピニオンについて説明できる。
第7回 12月2日 尾崎 哲則	2. インフォームド・コンセント 4) 患者の思い (教1) pp. 41-42	<ul style="list-style-type: none"> ・ 患者の幸福感は、必ずしも医師の最高と考える医療とは一致しないことを述べるができる。
第8回 12月9日 尾崎 哲則	3. 医療機関という組織と倫理 (教1) pp. 37-42	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「医療機関の主役は誰なのか。」について説明できる。 ・ 組織としての医療機関のもつ特性について説明できる。 ・ 医療サービスの提供機関としての医療機関を説明できる。
第9回 12月16日 尾崎 哲則	4. 生命と医療 1) 生殖医療と人権 (教1) pp. 19-20	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現代における人権の重要な項目のひとつにリプロダクティブ・ライト (Reproductive right) があるが、このことについて母性の観点から説明できる。
第10回 12月23日 尾崎 哲則	4. 生命と医療 2) 死の臨床 (教1) pp. 20-25	<ul style="list-style-type: none"> ・ 死をどのように従来の日本ではとらえてきたか、また西欧諸国（主にキリスト教国家）ではどのようなであったかについて概説できる。 ・ 安楽死、尊厳死について概説できる。 ・ ターミナル・ケアをひとつのキーワードに人の一生を概説できる。

授業日・担当者	講義項目	学修目的・到達目標
第11回 1月20日 尾崎 哲則	4. 生命と医療 3) 臓器移植と倫理 (教1) pp. 25-28	<ul style="list-style-type: none"> 臓器移植の倫理的問題点について列挙できる。 脳死と臓器移植との関係について倫理的に説明できる。
第12回 1月27日 尾崎 哲則	4. 生命と医療 4) 再生医療と倫理 (教1) pp. 37-42	<ul style="list-style-type: none"> 再生医療における医療倫理について、その特殊性や複雑さを説明できる。
第13回 1月29日 尾崎 哲則	4. 生命と医療 5) 医療と倫理を考える (教1) pp. 15-30	<ul style="list-style-type: none"> 生命と医療の倫理的問題について、自分の意見をまとめることができる。
第14回 2月4日 尾崎 哲則	4. 生命と医療 5) 医療と倫理を考える (教1) pp. 15-30	<ul style="list-style-type: none"> 生命と医療の倫理的問題について自分の意見を文章化することができる。
第15回 2月6日 尾崎 哲則	5. 歯科医療と倫理 (教1) pp. 30-31	<ul style="list-style-type: none"> 歯科医療現場での医療倫理の重要性について、説明できる。